

オンライン併用

木

13:00 開場 (オンライン入室開始13:20)

2023年2月16日 13:30~16:30

梅田スカイビル タワーウエスト36階 スペース36L



第15回

先端シーズプラットフォーム

けいはんな学研都市



今日、人類の生存に関わる諸問題が懸念される中、世界中で持続可能な社会の実現に向けた研究開発が進められています。

我が国では、「2030年に世界最先端のバイオエコノミー社会を実現すること」を目標に、持続可能性、循環型社会、健康(ウェルネス)をキーワードに『バイオ戦略』を掲げており、バイオテクノロジーや生物資源等を活用した持続的かつ再生可能な循環型の経済社会の実現は必須の課題となっています。

そこで、新市場の創出が期待できる新しい革新的研究開発を分かりやすくご紹介するとともに、近い将来の新たなイノベーションや産業創出につなげるため、本フォーラムを開催いたします。

多数の皆様のお申し込みをお待ちしております。

光る植物 飲むワタチン、 バイオエコノミー社会の実現!!

~けいはんな学研都市からの提案~

基調講演



出村 拓氏

1995年東北大学大学院理学研究科博士課程修了。博士(理学)。同大学助手、東京大学助手を経て、2000年より理化学研究所植物科学研究センターチームリーダー。2009年から奈良先端大教授。2021年からデジタルグリーンイノベーションセンター長。専門は植物生理学。木質バイオマスを構成する木質細胞の分化のしくみを遺伝子レベルで解析するとともに、樹木等を用いたバイオテクノロジー研究を推進している。

講演



永井 健治氏

1998年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。博士(医学)。理化学研究所基礎科学特別研究員、JSTさきがけ研究員を経て、2005年より北海道大学電子科学研究所教授。2012年から大阪大学産業科学研究科教授。専門は生物物理学。生命の動作原理をバイオイメージング技術を駆使して解き明かそうとしている。また、発光タンパク質の遺伝子を植物に導入することで自発的に発光するLEPデバイスの開発も行っている。

講演



増村 威宏氏

1989年京都府立大学大学院農学研究科博士課程修了。博士(農学)。1997年同大学講師及び京都府農業資源研究センター主任研究員を経て2015年より同大学院生命環境科学研究科教授。2020年から副学長、精華キャンパス長及び京都府農林水産技術センター生物資源研究センター理事。専門は植物分子生物学。米タンパク質の合成、蓄積機構に関する研究、米有用成分の利用に関する研究、経口ワタチン米の開発などに取り組んでいる。

モデレーター



久保 稔氏

2000年大阪大学大学院理学研究科博士課程修了。博士(理学)。2001年理化学研究所植物科学研究センター研究員。2006年JST ERATO長谷部文化全性能進化プロジェクトグループリーダーなどを経て、2021年より奈良先端大・デジタルグリーンイノベーションセンター特任准教授。専門は植物分子生物学。細胞分化・増殖のしくみを1細胞レベルで調べている。融合領域研究で植物のデバイス開発や生物のビッグデータ解析も行う。

主催：(公財)関西文化学術研究都市推進機構
共催：(公社)関西経済連合会
後援：バイオコミュニティ関西

参加費無料

お申し込み方法

ご来場でのご参加
オンラインでのご参加
共に右のQRコード



または下記のURLからご登録をお願いします。
https://www.kri.or.jp/news-event/20230105_1347.html
2023年2月14日(火)お申込み締切り

お問い合わせ

(公財)関西文化学術研究都市推進機構
新産業創出会員事業室(担当:田中照彦)
TEL : 0774-98-2277
E-mail : kaiinjigy@kri.or.jp

光る植物 飲むワクチン、 バイオエコノミー社会の実現!!

～けいはんな学研都市からの提案～

プログラム

- 13:00：開場(オンライン入室開始13:20)
- 13:30：開演・主催者あいさつ
- 13:35：基調講演『けいはんな地区にグリーンイノベーションを起こす』
- 13:50：講演『自発光植物デバイスの創出と社会実装に向けた展望』
- 14:40：講演『イネを用いたグリーンワクチン(飲むワクチン)生産の試み』
- 15:35：パネルディスカッション
『デジタルとグリーンの融合によって生まれる新しい社会とは?』
- 16:25：閉会あいさつ

第15回

けいはんな学研都市

先端
シー
ーズ
フォー
ラム

基調講演 13:35～ 『けいはんな地区にグリーンイノベーションを起こす』



出村 拓氏

奈良先端科学技術大学院大学 教授・デジタルグリーンイノベーションセンター長

奈良先端大は、環境・食糧・エネルギー問題の解決と豊かで持続的な社会の構築に貢献するために、2021年1月にデジタルグリーンイノベーションセンターを設置しました。センターとして様々な活動を推進する上で、地域、とくに、けいはんな地区における産学公民連携は極めて重要であると考えており、本講演では、今後、どのような連携を進めるべきかについて提案します。

講演 13:50～ 『自発光植物デバイスの創出と社会実装に向けた展望』

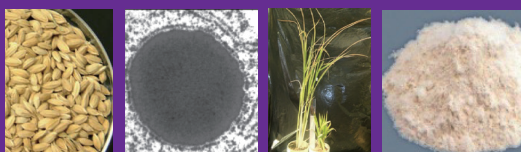


永井 健治氏

大阪大学 産業科学研究所 教授

当研究室で進めている発光生物が有する仕組みを導入することで自発的に発光可能な植物デバイス(LEP)は、全く電力を消費しないだけでなく、CO₂を自動的に吸収固定でき、地球上のどこにでも実装可能です。産業廃棄物とならずに自発的な資源循環が可能であることから、超ゼロエミッションを実現する全く新しい技術として期待されます。

講演 14:40～ 『イネを用いたグリーンワクチン(飲むワクチン)生産の試み』



増村 威宏氏

京都府立大学 副学長・教授

イネ種子(米)は主にデンプンを蓄積していますが、タンパク質を合成し特定の場所に集積する高い能力も備えています。この能力を利用し、グリーンワクチン(飲むワクチン)を生産し、タンパク質顆粒に集積する技術の開発に成功しました。また、矮性イネ「京のゆめ」を用いることで植物工場などの屋内栽培に最適化する試みも開始したので、その概要についても報告します。

パネルディスカッション 15:35～ 『デジタルとグリーンの融合によって生まれる新しい社会とは?』

出村 拓氏・永井 健治氏・増村 威宏氏 モデレーター 久保 稔氏

オンライン併用

2023年2月16日 木

13:00 開場(オンライン入室開始13:20)

13:30～16:30

梅田スカイビル

タワーウエスト36階

スペース36L

大阪市北区大淀中1丁目1-30

